

情報提供資料

TDAMフォワード・ルッキング・リサーチ

債券運用部 チーフ・ストラテジスト兼ファンドマネージャー 浪岡 宏, CFA

～TDAM米国株EPS予想指数～

2024年3月26日

筆者の手元では、米国株の予想をするための様々なアプローチを試行錯誤している。指数の開発を試みたり、チェックリストアプローチを試みたりしている。今回は、米国株(S&P500)の12カ月先予想EPS(1株当たり純利益)の方向を予想する指数について紹介したい(今後、計算方法や投入する指数などを予告なく変更する可能性があることはご留意頂きたい)。

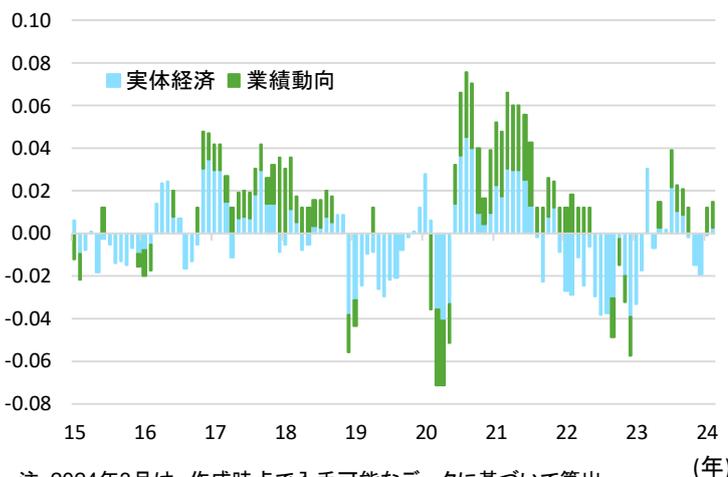
この指数は、「実体経済」と「業績動向」からなる(グラフ①)。「実体経済」については、主に景況感等のデータを用いている。一方で、「業績動向」については、これまでの業績動向の推移をもとに今後の方向性を予想する形にしている。いずれも一般に公表されているデータや当社が他社から購入したデータを参考にしているが、複数の計算工程を経て算出している。

あくまでも過去のデータ(2015年2月～2024年2月のデータ)をもとにした検証に過ぎないが、米国株の12カ月先予想EPSの前月比とTDAM米国株EPS予想指数の符号一致率は約66%とやや高かった。プロット図でも右肩上がりの傾向がうかがえた(グラフ②)。過去と同様の傾向が続くのであれば、今後とも同指数は参考になるかもしれない。

なお、同指数は、足許で取得可能なデータから計算した3月のデータでは、プラスとなっていることから、4月の予想EPSは前月比プラスになるかもしれない。モデルを鵜呑みにすることはできないが、これまで米国株について慎重な姿勢を持っていた筆者にとって、やや興味深い動きである。

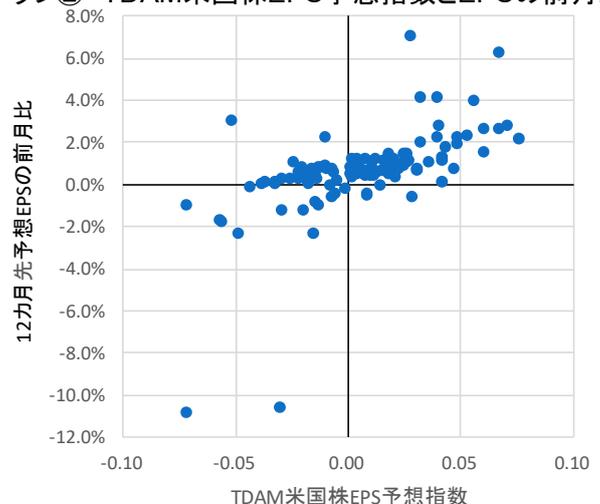
勿論、株価を予測する上ではPER(株価収益率)の予想も重要であり、これについては、まだ適切なモデルはないため、こちらは今後の課題である。

グラフ① TDAM米国株EPS予想指数



注：2024年3月は、作成時点で入手可能なデータに基づいて算出  
期間：2015年2月～2024年3月(月次データ)

グラフ② TDAM米国株EPS予想指数とEPSの前月比



期間：2015年2月～2024年2月(月次データ)

出所：グラフ①、②ともBloomberg、Markit PMIのデータをもとにT&Dアセットマネジメントが作成

【ご留意事項】本資料は、T&Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したご参考資料であり、投資勧誘を目的としたものではありません。したがって、個別銘柄に言及した場合でも、関連する銘柄の当社ファンドへの組入れを約束するものでも、売買を推奨するものでもありません。本資料は、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。本資料は、当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。その正確性・完全性を保証するものではありません。本資料中の数値・グラフ等の内容は、過去の状況であり、将来の市場環境等を示唆・保証するものではありません。本資料は作成時点での見解であり、今後予告なく変更する場合があります。ご投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断ください。